



## 2013年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練

関西国際空港で航空機事故が発生した場合に備え「関西国際空港緊急計画」の検証を行うと共に、関係機関と緊密な連携による迅速かつ適切な消火救難、災害医療活動訓練を、下記のとおり実施します。

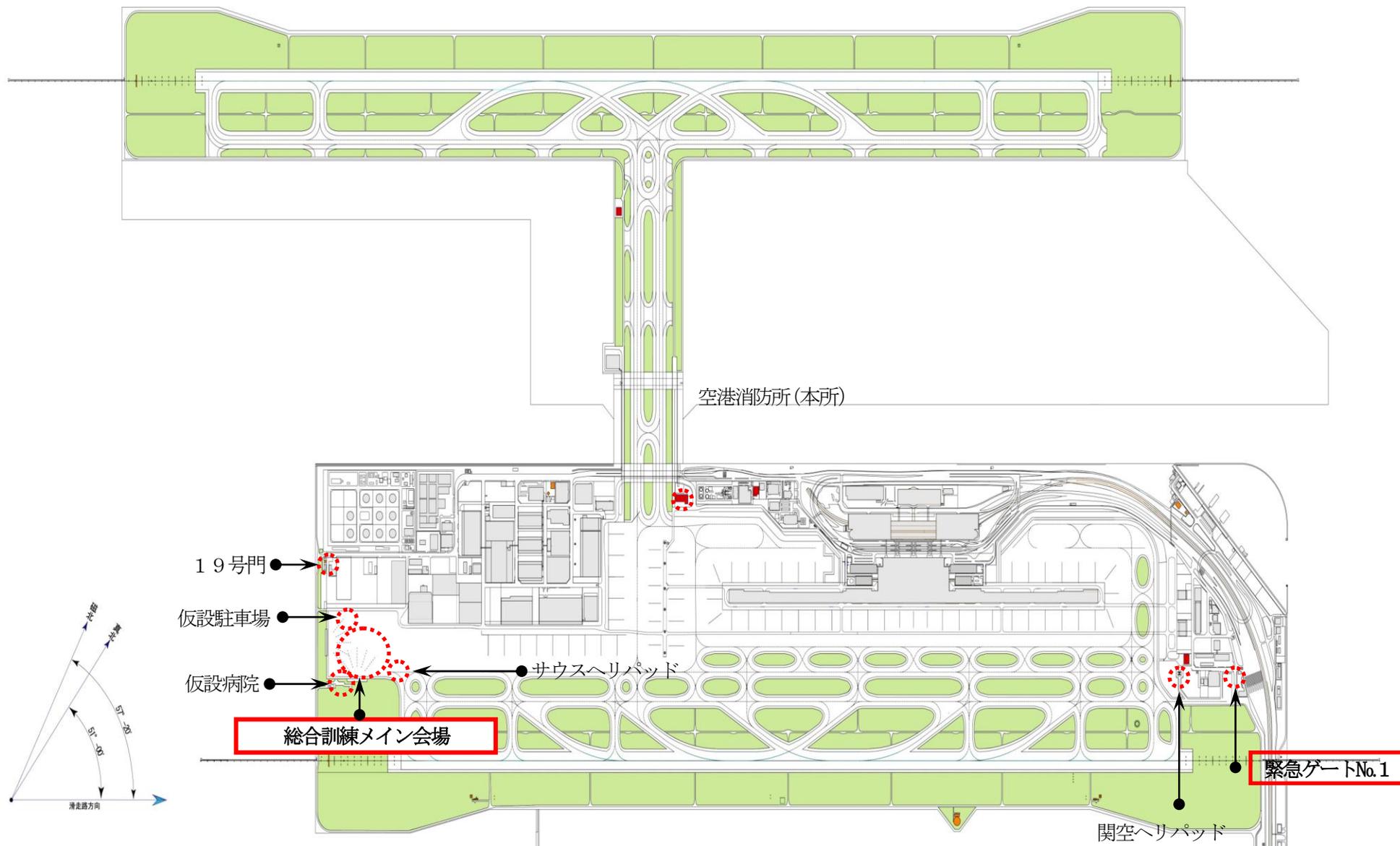
### 記

- 実施日時 10月31日(木) 14:00～15:30
- 実施場所 関西国際空港内(別図参照)
- 主催 関西国際空港緊急計画連絡協議会
- 航空機提供 Peach Aviation 株式会社(A320-200型機)
- 参加機関
  - ・参加機関 :70機関  
[国土交通省関西空港事務所、大阪府警、消防機関(14市町8消防本部)、医療機関他]
  - ・参加人員 :820名
  - ・車両 :消防車26台、救急車20台、警察車両9台
  - ・ヘリコプター :4機(関西空港海上保安航空基地、陸上自衛隊、大阪府警察本部、大阪市消防局)
- 訓練想定  
「ABCD航空2013便、A320-200型機が、A滑走路(06)に着陸後、滑走路中央付近にてNo2エンジンより出火し、機体に延焼中」との想定で訓練を実施。
- 主な訓練内容
  - ・ 新関西国際空港(株)および大阪府下14市町8消防本部(局)による消火活動訓練
  - ・ 航空機及び機内に模した訓練用モックアップからの負傷者救出訓練
  - ・ 訓練用シューターによる脱出訓練及び負傷者救助訓練
  - ・ 「大阪府広域災害・医療情報システム」の運用訓練
  - ・ 特殊メイクを施した模擬負傷者に対する、DMAT(泉州救命救急センター、近畿大医学部附属病院、市立堺病院)等の空港救護班による災害医療活動訓練
  - ・ ヘリコプター4機による空港島までの飛来訓練および負傷者搬送訓練
  - ・ D-MORT(災害死亡者家族支援チーム)による遺族者へのメンタルヘルス対応訓練
  - ・ 航空事故総合対策本部、現地調整本部、新関西国際空港(株)対策本部の活動訓練

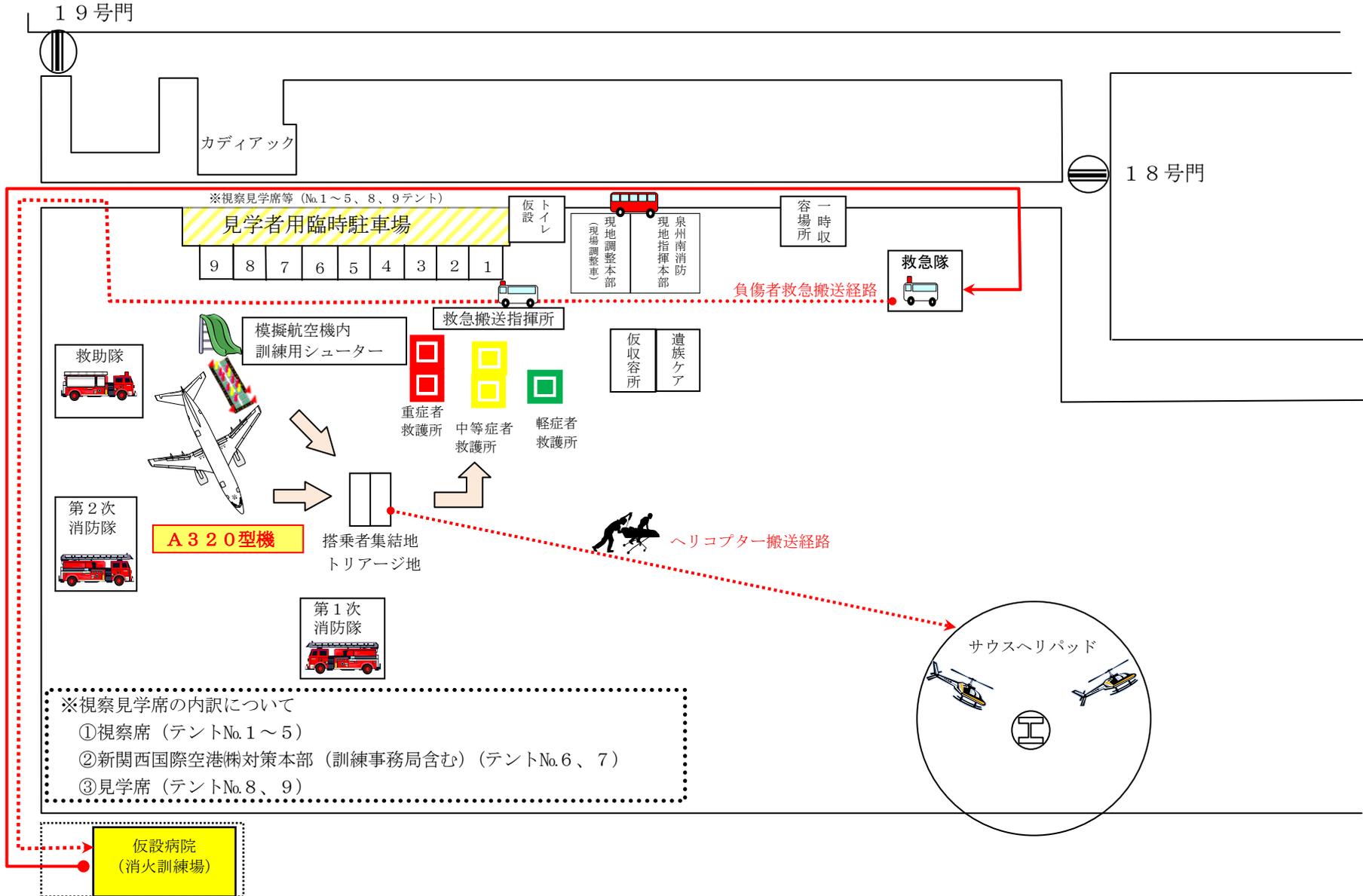
**※下線の訓練については、今回が初めての取り組みとなります。また、訓練用モックアップからの救助訓練と、シューター脱出訓練では、実際に航空会社客室乗務員(CA)と連携した活動を行います。**



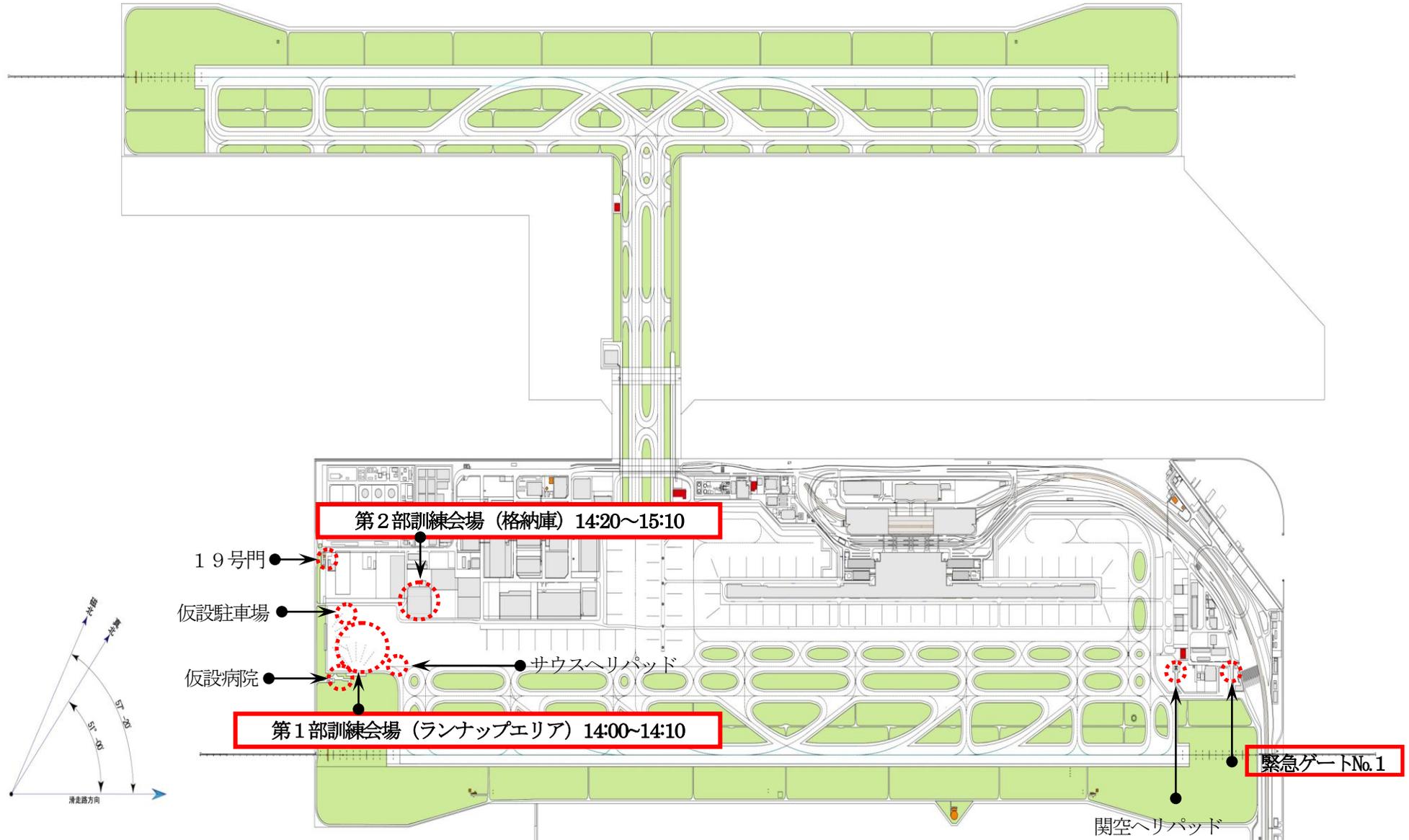
2013年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練【晴天用】



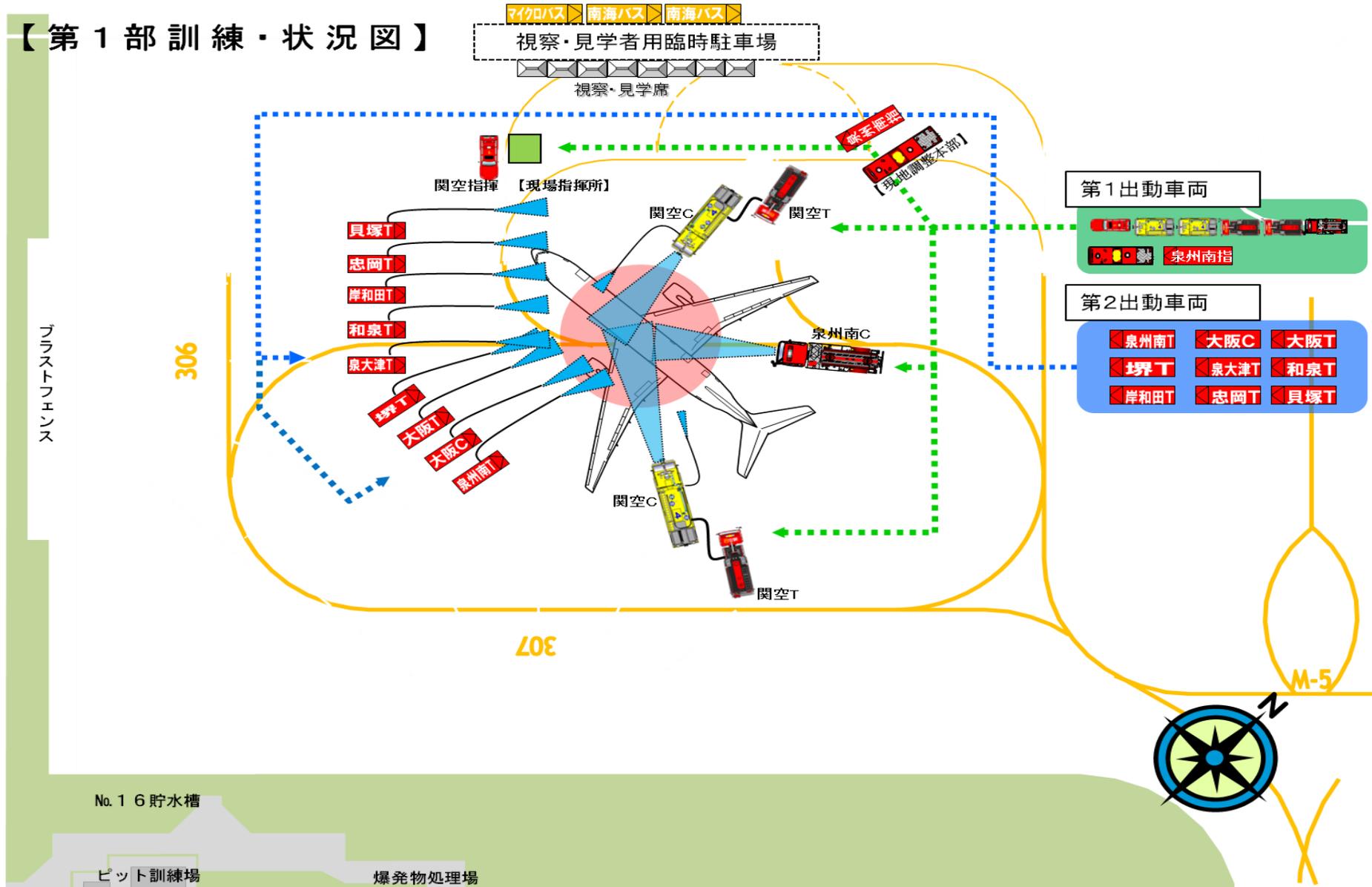
# 総合訓練会場概況図(2013年度)【晴天用】



2013年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練【雨天用】



第1部訓練会場概況図 (ランナップエリア)



第2部訓練会場概況図（格納庫内）

